GWの思い出に ちびっ子集まれ～

5/3 火 ～ 5/5 木

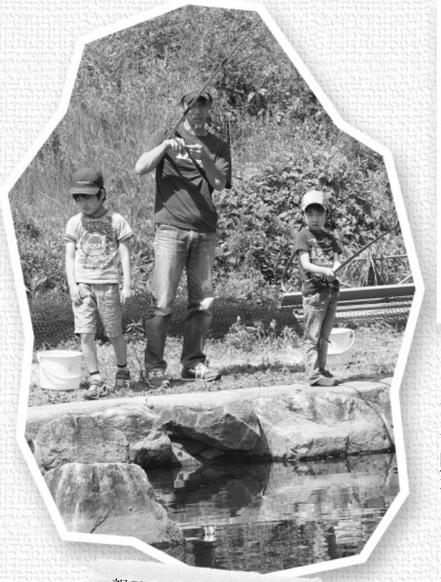
子どもたちにゴールデンウィークを楽しんでもらうイベント「ちびっ子集まれ～」が、うぐいす茶屋周辺を会場に開催されました。

期間中約600名の人が来場

志津見地区の住民で組織する(有)志都の里が主催するこの催し。会場では、やまめの塩焼きや手打ちそば、杵つき餅など地元のおいしいものが並び、訪れた人たちのおなかを満たしていました。

一輪車やフラフープをお母さんに自慢げに見せる子どもたち。童心にかえって竹馬にのるお父さん。「やまめの渓」ではやまめ釣り。声を上げて喜ぶ子どもたちや家族の姿があちらこちらで見られ、楽しいゴールデンウィークの思い出となった様子でした。

期間中、雨や強風の吹く日もありましたが、連日多くの家族連れなどで賑わいました。


親子で釣りを楽しむ姿があちらこちらで

春を味わう 谷間の楽校 山菜に親しもう

4/29 金

春の谷地区を散策しながら山野草について学ぶ催し「谷間の楽校 山菜に親しもう」が開催され、約30名の参加者が集まりました。

案内は谷地区出身のラブリーふるさと自然塾の三東崇昇さん(大分県在住)。汗ばむ陽気の谷地区を、山野草のなまえや食べ方を学んだり、摘んだりしながら散策しました。

その日採った山菜は、天ぷらや山菜巻き巻きパンにして、食材のもつ苦味やうま味をみんなで楽しんでいました。

食べられる山野草やそうでないものの違いに驚きながら熱心に話を聞く参加者

国道54号に彩りを 上赤名自治振興協議会が「もみじ」を植栽

4/23 土

植栽に参加した地元有志のみなさん

上赤名自治振興協議会が、旧赤名54ドライブイン跡地周辺に、30本のもみじを植栽しました。

出雲国風土記にも記され野見野が一望できる旧赤名54ドライブイン跡地。飯南町の広島側の玄関口として、秋には、地域住民や国道54号を通過するドライバーの目を楽しませてくれるのではないでしょうか。

この事業は、島根県緑化推進委員会の「緑の募金公募事業」を活用して実施されました。

水源地域ビジョン 獅子地区で田舎体験

5/3 火 ～ 5/4 水

田植えが最盛期を迎えるゴールデンウィーク。獅子地区で、島根大学の学生が田植えやたけのこ掘りをして、田舎を体験しました。

1泊2日の田舎体験に参加したのは、島根大学生物資源科学部の学生10名と先生2名。約3反の田んぼを、手植えと機械植えで作業しました。手植えでは、田ぐつが脱げて最終的には裸足で田んぼに入るハプニングもありました。今後、草刈りや稲刈りにも参加してもらい交流を深めていきます。

えいっ！ちょうどいい大きさの「たけのこ」

この取り組みは、志津見ダムを活かした水源地域“志々地域”の自立的・継続的な活性化のために策定された「志津見ダム水源地域活性化ビジョン」に基づいて実施されました。

まっすぐ植えるのに悪戦苦闘

ばばひきで線を引いて一斉にスタート！

ご縁を配達 大しめ縄ご縁ポスト

4/21 木

笑顔でポストに駆け寄り初投函！

大しめなわ創作館の道の駅頓原側に設置されました

頓原郵便局、飯南町注連縄企業組合、飯南町が「しめ縄」「縁結び」「出雲神話」といった町の歴史文化を生かし、連携して地域を盛り上げようと「大しめ縄ご縁ポスト」を大しめなわ創作館に設置しました。

ポストの除幕式には、郵便局、町内各団体、町の関係者のほか、桜ヶ台保育所の児童20名が出席。除幕式後には、子ども達一人ひとりが、家族や友達宛てに書いた手紙を投函しました。

ポストには、オオクニヌシの琴があると出雲国風土記に記された山「琴引山」と飯南町にゆかりの深いオオクニヌシ、スセリヒメが描かれています。

大しめなわ創作館で販売されている封筒やハガキを使って、このポストに投函された郵便物には、頓原郵便局オリジナルの風景印が押され配達されます。